

「ニコン Z マウントシステム」対応の小型・軽量単焦点レンズ「NIKKOR Z 40mm f/2」を発売

携行性に優れ、日常の気軽な撮影が楽しめる

株式会社ニコン　　2021年09月15日

株式会社ニコン（社長：馬立 稔和、東京都港区）の子会社、株式会社ニコンイメージングジャパン（社長：北端 秀行、東京都港区）は、「ニコン Z マウント」を採用したフルサイズ（ニコンFXフォーマット）ミラーレスカメラ対応の小型・軽量単焦点レンズ「NIKKOR Z 40mm f/2」を発売します。なお、本製品は、2021年6月2日に開発発表を行っています。

「NIKKOR Z 40mm f/2」は、開放F値2と明るく、ボケを活かした表現が気軽に楽しめる標準単焦点レンズです。全長約45.5mm、質量約170gと小型・軽量を実現。焦点距離40mmの汎用性が高い標準画角のレンズであり、幅広い撮影シーンに活用できます。明るい開放F値と9枚の絞り羽根により、円形に近いきれいなボケを活かしたポートレート撮影など、印象的な表現が楽しめます。

また、高い光学性能と快適なAF、防塵・防滴性能※を有しながら、高いコストパフォーマンスも実現。初心者からプロフェッショナルフォトグラファーまで、すべての「Z シリーズ」ユーザーに気軽にお使いいただけるレンズです。

ニコンは、今後も新次元の光学性能を追求し、ユーザーのニーズに応えていきます。そして、映像表現の可能性をさらに拡げることを目指し、映像文化の発展に貢献します。

※すべての条件で完全な防塵・防滴を保証するものではありません。



©Laura Pritchett

発売概要

商品名	「NIKKOR Z 40mm f/2」
希望小売価格	￥35,530（税別 ￥32,300）
発売時期	2021年10月1日予定

日本での予約販売受付は、9月16日10時より開始します。

主な特長

・明るい開放F値2と9枚の絞り羽根により、円形に近いきれいなボケが楽しめる
・焦点距離40mmの標準画角で、ポートレート、スナップ、静物などの幅広い撮影シーンに対応
・DXフォーマットのカメラボディー装着時には焦点距離約60mm（35mm判換算）に相当
・全長約45.5mm、質量約170gと小型・軽量化を実現
・最短撮影距離は0.29mで、被写体に近づいたダイナミックな撮影が可能
・STM（ステッピングモーター）を採用し、小型化と、静粛で高速・高精度なAF制御を実現
・安心して持ち運べる、防塵・防滴に配慮した設計
・「コントロールリング」に絞り値や露出補正などの機能の割り当てが可能
・静粛性に優れ、フォーカスブリージング時の画角変化の低減や、露出の安定化など動画撮影に配慮した設計

主な仕様

マウント	ニコン Z マウント
焦点距離	40mm
最大口径比	1：2
レンズ構成	4群6枚（非球面レンズ2枚）
画角	57° （撮像範囲 FX） 38° 50’ （撮像範囲 DX）
寸法	約70mm（最大径）×45.5mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約170g